

## 協議 3

### 公共交通に関する先進事例調査について

#### 1 現状および課題

- ・バス事業者における深刻な運転手不足
- ・近年、高齢者の運転による重大な事故が多発しており、自動ブレーキ等の安全装置や自動運転も含めた対策の導入が叫ばれている。
- ・高齢化の進行や運転免許返納者の増加などにより、これまでマイカー移動をしていた住民の移動手段がなくなり、高台にある住宅地など、新たな公共交通空白地域が生じてきている。

#### 2 視察の目的

- ・運転手不足の問題解消や、運転に不安を抱える高齢者の移動手段の確保を目的とした、公共交通における自動運転の導入に向けた実証実験などを行う取組が増えている。
- ・地域が抱える様々な交通の課題の解決と、環境に配慮した「グリーンスローモビリティ」の活用を検討し、実証調査を行う取組が増えている。  
※グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の電動小型車
- ・このような取組について、将来を見据えた本市における施策検討の参考とするため、先進事例調査を行おうとするものである。

#### 3 視察先案

##### (1) 自動運転バス

###### ○前橋市

群馬大学、日本中央バス(株)と共同で、平成30年度に、全国初となる営業ナンバーでの自動運転バスの実証実験を行った。(別紙資料参照)

今年度は運行区間を延長し、同様の実証実験を行う予定。

##### (2) グリーンスローモビリティ事業

国土交通省が平成30年度に地方自治体を対象に実証調査地域を募集し、選定された5地域で、実証調査を行った。このうち、福山市では本年4月から本格事業を開始した。

今年度も同様に募集する予定であるとのことから、選定された地域の中で条件が合致する地域があれば、視察の対象としたい。